

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 6 月 18 日 (2009.6.18)

【公表番号】特表 2008-540742 (P2008-540742A)

【公表日】平成 20 年 11 月 20 日 (2008.11.20)

【年通号数】公開・登録公報 2008-046

【出願番号】特願 2008-510311 (P2008-510311)

【国際特許分類】

C 0 9 J 133/04 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 133/04

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 7/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 24 日 (2009.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 重合すると約 10 未満のガラス転移温度 (T_g) を有する、第 1 (メタ) アクリレートエステルモノマー 15 ~ 85 重量部と、

(b) 第 1 親水性酸性コモノマー 85 ~ 15 重量部と、

(c) 構成成分 (a) + (b) の合計 100 部を基準にして、可塑剤少なくとも 10 部、との重合生成物を含む第 1 親水性感圧接着剤と、

(a) 第 2 (メタ) アクリレートエステルモノマー 75 ~ 99 重量部と、

(b) 第 2 親水性酸性コモノマー 25 ~ 1 重量部、

との重合生成物を含み、前記第 1 親水性感圧接着剤中に混和可能である第 2 感圧接着剤と、

粘着性付与剤、

との接着剤ブレンドを含む接着剤組成物。

【請求項 2】

前記接着剤ブレンドが、

(a) 重合すると約 10 未満のガラス転移温度 (T_g) を有する、第 1 (メタ) アクリレートエステルモノマー 30 ~ 70 重量部と、

(b) 前記第 1 親水性酸性コモノマー 70 ~ 30 重量部と、

(c) 構成成分 (a) + (b) の合計 100 部を基準にして、可塑剤少なくとも 20 部、との重合生成物を含む第 1 親水性感圧接着剤と、

(a) 前記第 2 (メタ) アクリレートエステルモノマー 85 ~ 95 重量部と、
(b) 前記第 2 親水性酸性コモノマー 15 ~ 5 重量部、

との重合生成物を含む第 2 感圧接着剤と、

前記粘着性付与剤

とを含む、請求項 1 に記載の接着剤組成物。

【請求項 3】

強化テープと、

第 1 ポリアクリレートを含む第 1 親水性感圧接着剤 25 ～ 75 重量部と、

該第 1 ポリアクリレートと異なる第 2 ポリアクリレートを含む該親水性感圧接着剤中に混和可能である非疎水性感圧接着剤 60 ～ 24 重量部と、

粘着性付与剤 15 ～ 1 重量部

との接着剤ブレンドを含む、該強化テープ上に配置された感圧層

とを含み、

該接着剤ブレンドが、さらに架橋剤を含む、接着剤物品。

【請求項 4】

第 1 ポリアクリレートを含む親水性感圧接着剤を形成する工程と、

該第 1 ポリアクリレートと異なる第 2 ポリアクリレートを含む該親水性接着剤中に混和可能である非疎水性感圧接着剤を形成する工程と、

該親水性感圧接着剤を該非疎水性感圧接着剤、及び粘着性付与剤と配合して、接着剤ブレンドを形成する工程であって、該接着剤ブレンドが、架橋剤をさらに含む工程と、

一層の該接着剤ブレンドを強化テープ上に配置して、接着剤ブレンドテープを形成する工程、

とを含む、接着剤物品の製造方法。